

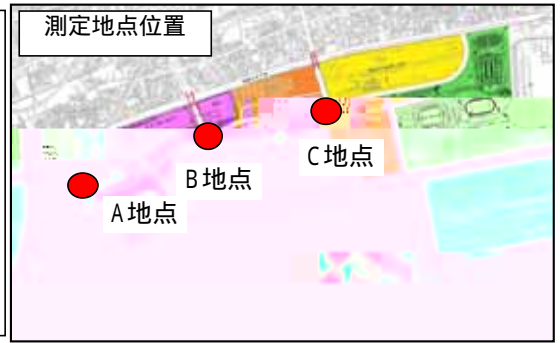
JFEスチール東日本製鉄所(千葉地区)における大気環境状況測定結果

H20年度(H20.4~H21.3)

当所敷地境界における大気環境状況につきまして

H20年度は、以下の内容で調査しております。

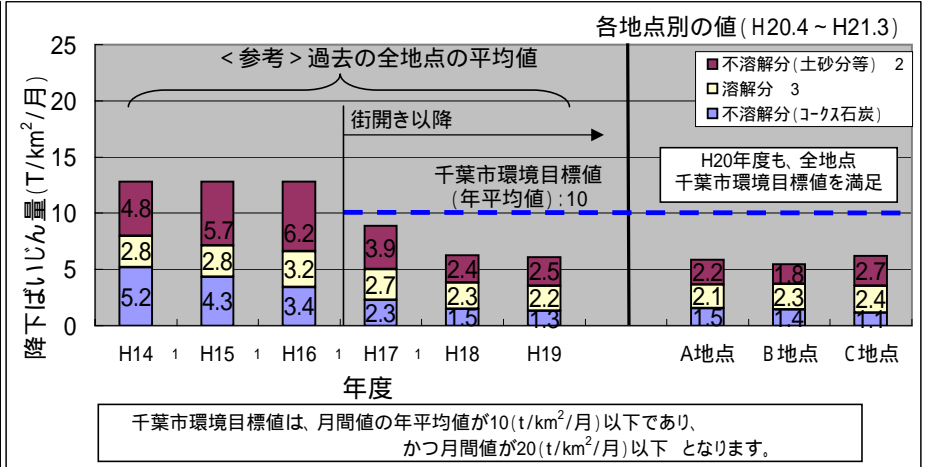
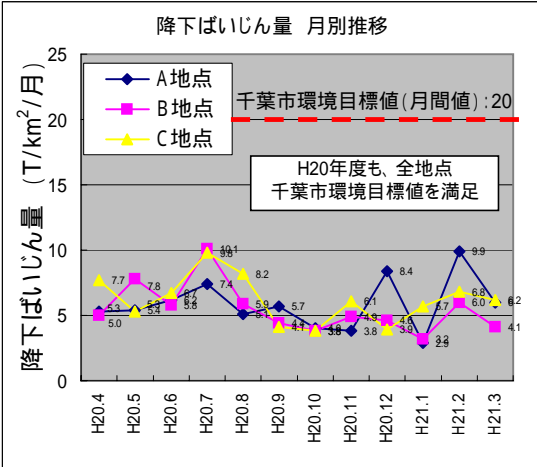
- ・測定地点: A、B、C 3地点 (右図参照)
- ・測定項目: 1) 降下ばいじん量
2) 悪臭
3) ベンゼン
- ・測定頻度: 1) 降下ばいじん量: 1月単位 2) 悪臭: 1回/2週間 3) ベンゼン: 1回/1週間



なお、各項目の分析業者は、以下のようになっております。

- 1) 降下ばいじん量: 日産産業(株)環境技術センター
- 2) 悪臭: 中外テクノス(株)関東環境技術センター
- 3) ベンゼン: JFEテクノロジー(株)分析・評価事業部 千葉事業所、倉敷事業所

1) 降下ばいじん量



- ・ 2 不溶解分(土砂分等)には、蘇我臨海部地区内の解体、造成等基盤整備工事等の要因が含まれる。
- ・ 3 溶解分: ナトリウム、マグネシウム等の可溶成分。海域からの飛来する塩分が主体。

2) 悪臭

臭気濃度測定結果

地点	項目	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H21.1	H21.2	H21.3
		N数	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	2
協定値(4)達成数	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2
臭気濃度最大値	10未満	12	11	10未満	10未満	17	10未満	19	10未満	10未満	14	11	10未満
臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	12	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

地点	項目	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H21.1	H21.2	H21.3
		N数	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	2
協定値(4)達成数	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2
臭気濃度最大値	16	10未満	10未満	10未満	18	12	10未満	14	10未満	17	10未満	10未満	10未満
臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

地点	項目	H20.4	H20.5	H20.6	H20.7	H20.8	H20.9	H20.10	H20.11	H20.12	H21.1	H21.2	H21.3
		N数	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	2
協定値(4)達成数	2	2	3	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2
臭気濃度最大値	10未満	10未満	16	10未満	10未満	15	13	10未満	10未満	10未満	10未満	19	10未満
臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満	10未満

4 悪臭の協定値は、敷地境界20以下です。

H20年度も、全地点協定値を満足。

<参考>過去の全地点の測定値

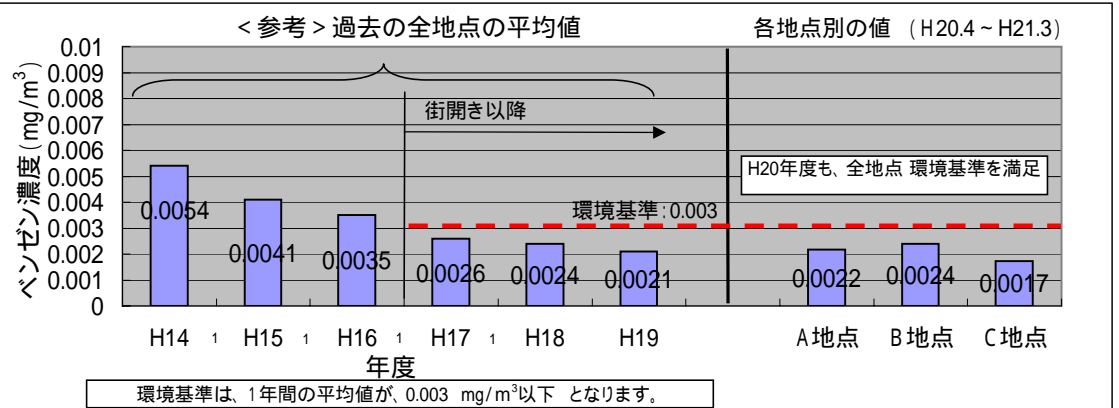
	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度
N数	40	40	288	392
協定値(4)達成数	38	37	286	392
臭気濃度最大値	62	49	27	20
臭気濃度最小値	10未満	10未満	10未満	10未満

	H18年度	H19年度
N数	97	75
協定値(4)達成数	97	75
臭気濃度最大値	19	20
臭気濃度最小値	10未満	10未満

3) ベンゼン

各地点 ベンゼン濃度平均値

A地点: H20.4~H21.3におけるN=52の平均値
 B地点: H20.4~H21.3におけるN=52の平均値
 C地点: H20.4~H21.3におけるN=52の平均値



【備考】

- 過去の測定データにつきまして、
 - 各年度のデータの測定期間は以下のようになっております。
 - ・H14年度はH14.10~11、・H15年度はH15.3、・H16年度はH16.6~H17.3、・H17年度はH17.5~H18.4(街開き後1年間)
 - 各測定地点の位置、個別のデータ詳細につきましては当該年度の、「測定結果一覧表」をご覧ください。